TDB Business View

株式会社帝国データバンク
札幌支店
住所：札幌市中央区南２条西 9-1-17
TEL：011-272-3933（代表）
URL：https://www.tdb.co.jp/

2023 年度 北海道内スーパーストア売上高ランキング

イオン北海道が 4 年連続首位へ

～上位 50 社の売上高合計は前年度比 3.6%増、寡占化が進む～

はじめに

円安や原材料価格高騰の影響などから食料品を中心とする値上げが相次ぐ流通小売業界。顧客獲得競争は激しさを増している。スーパーストア業界に目を転じると「イトーヨーカドー」「西友」が相次いで道内から撤退を表明。こうしたなか、イオン北海道が 10 月 1 日付で西友の道内 9 店舗を承継したほか、11 月 23 日にはＯＩＣグループ（神奈川県川崎市）がイトーヨーカドーから承継した道内 1 号店となる食品スーパー「ロピア屯田店」（札幌市北区）のオープンを予定するなど業界再編が活発化している。

帝国データバンク札幌支店は、企業概要ファイル「COSMOS2」（登録社数 147 万社）を対象に、2023 年度（2023 年 4 月期～2024 年 3 月期）に決算を迎えた道内企業（約 7 万社）から、スーパーストア経営業者を抽出、売上高ランキング（不動産賃貸収入等を含む）を作成した。なお、売上高は推定値を含む。

～調査対象～

１．原則として生鮮 3 品を扱い、セルフサービス方式を採用する法人

２．北海道内に本社を置きスーパーストアを展開する法人

３．北海道内に本社を置き店舗展開する生活協同組合（大学生協を除く）

４．売上高は不動産賃貸収入等を含み、店舗数は上記の対象店舗とする

調査結果（要旨）

１． 2023 年度のランキング第 1 位は、イオン北海道（株）。売上高は前期比 4.8%増の 3560 億 800 万円を計上し 4 年連続しての首位となった。第 2 位は（生協）コープさっぽろ。第 3 位は（株）ラルズ、第 4 位は（株）ホクレン商事、第 5 位は（株）ダイイチで前年度と変わらなかった。これら 5 社を含めた上位 20 社のランキング順位についても前年度と変わりはなかった。

２． 大手 3 強のグループ別売上高は、第 1 位が店舗数 170、売上高 3560 億 800 万円のイオン北海道(株)。第 2 位は（生協）コープさっぽろ及び業務提携する(有)魚長及び(株)中央スーパーのグループ。第 3 位はアークスグループ。

３． 上位 50 社の売上高合計は 1 兆 2554 億 7200 万円で前年度比 3.6%増。このうち上位 10 社の売上高合計は 1 兆 1216 億 5200 万円で同 4.0%増。上位 50 社の増収企業（横ばい含む）は 37 社、減収企業は 13 社。

©TEIKOKU DATABANK, LTD.2024

１．売上高ランキング　～　第１位はイオン北海道、第２位はコープさっぽろ

ランキング第 1 位は売上高 3560 億 800 万円（前期比 4.8%増）を計上した**イオン北海道（株）**で、4 年連続しての首位となった。第 2 位は売上高 3174 億 9500 万円（同 3.3%増）の**（生協）コープさっぽろ**。第 3 位はアークスグループの中核、**（株）ラルズ**で売上高 1482 億 8200 万円（同 5.3%増）。**（株）ホクレン商事**は同 2.3%増の売上高 562 億 8700 万円で第 4 位となった。第 5 位の**（株）ダイイチ**は同 3.2%増の売上高 485 億 9600 万円を計上した。上位 20 社のランキング順位については前年度と変わりはなかった。

2023年度　北海道内スーパーストア売上高ランキング

（金額単位:百万円）

順位	前年順位	法人名	所在地	店舗名	店舗数（決算時）	決算期（月）	2023年度売上高	2022年度売上高	伸び率（%）
1	1	イオン北海道(株)	札幌市	イオン ほか	170	2	356,008	339,659	4.8
2	2	(生協)コープさっぽろ	札幌市	コープさっぽろ	109	3	317,495	307,280	3.3
3	3	(株)ラルズ	札幌市	スーパーアークス ほか	74	2	148,282	140,820	5.3
4	4	(株)ホクレン商事	札幌市	ホクレンショップ ほか	49	3	56,287	55,033	2.3
5	5	(株)ダイイチ	帯広市	ダイイチ	23	9	48,596	47,095	3.2
6	6	(株)道北アークス	旭川市	スーパーチェーンふじ ほか	43	2	44,453	43,568	2.0
7	7	(株)福原	帯広市	フクハラ ほか	41	2	43,277	42,088	2.8
8	8	(株)東光ストア	札幌市	東光ストア ほか	26	2	40,540	39,380	2.9
9	9	北雄ラッキー(株)	札幌市	ラッキー ほか	31	2	38,170	37,977	0.5
10	10	(株)道南ラルズ	北斗市	ラルズマート ほか	18	2	28,544	25,939	10.0
11	11	JR北海道フレッシュキヨスク(株)	札幌市	JR生鮮市場	9	3	23,895	22,809	4.8
12	12	(株)道東アークス	北見市	ラルズマート ほか	14	2	20,273	19,885	2.0
13	13	(株)豊月	苫小牧市	フードD	11	1	14,200	14,269	▲ 0.5
14	14	(株)津司	札幌市	卸売スーパー	7	4	9,600	10,500	▲ 8.6
15	15	(有)魚長	函館市	生鮮夢市場 ほか	16	2	8,971	9,346	▲ 4.0
16	16	(株)ダイゼン	鷹栖町	DZマート	29	9	8,718	7,635	14.2
17	17	(株)モリワキ	札幌市	北海市場	5	12	6,080	6,040	0.7
18	18	(株)東武	中標津町	東武サウスヒルズ ほか	2	1	5,130	5,000	2.6
19	19	(株)ハピオ	音更町	ハピオ	1	3	4,119	3,877	6.2
20	20	(株)ーウ商事	札幌市	マンボウ西野店	1	2	3,800	3,750	1.3

※1　イオン北海道(株)は2015年9月より(株)ダイエーの北海道地区の総合スーパー9店舗を承継
※2　マックスバリュ北海道(株)は2015年9月より(株)ダイエーの北海道地区の食品スーパー7店舗を承継
　　また同年10月1日付で(株)いちまるよりスーパーストア14店舗を承継
※3　(株)道東ラルズは2016年3月に(株)篠原商店を合併、(株)道東ラルズは(株)道東アークスに商号を変更
※4　(株)ダイイチは2016年10月1日付で(株)オーケー(音更町)を吸収合併
※5　イオン北海道(株)は2020年3月1日付でマックスバリュ北海道(株)を吸収合併
※6　JR北海道フレッシュキヨスク(株)は2021年10月1日付で(株)北海道ジェイ・アール・フレッシュネス・リテールを吸収合併

©TEIKOKU DATABANK, LTD.2024

２．大手３強の売上高～イオン北海道が 3560 億 800 万円で 4 年連続してトップに

大手 3 強の売上高を見ると、イオン北海道(株)が前期比 4.8%増の 3560 億 800 万円を計上して 4 年連続してのトップとなった。第 2 位は（生協）コープさっぽろ及び業務提携先の(有)魚長（函館市）、(株)中央スーパー（留萌市）のグループ。2019 年 9 月に（生協）コープさっぽろと(株)中央スーパーは業務提携契約書を締結し、同グループの店舗数は 129、2023 年度における売上高合計は前期比 3.3%増の 3279 億 6600 万円となった。　アークスグループ（道内本社 6 社）は店舗数 216、売上高合計は前期比 4.4%増の 3253 億 6900 万円で第 3 位となった。

2023年度（2023年4月期～2024年3月期）大手3強の売上高

●イオングループ売上高　（単位：百万円）

企業名	店舗数	2022年度	2023年度	伸び率(%)
イオン北海道㈱	170	339,659	356,008	4.8
合　計	170	339,659	356,008	4.8

■イオン北海道（株）は2015年9月より（株）ダイエーの北海道地区の総合スーパー9 店舗を承継
■マックスバリュ北海道（株）は2015年9月より（株）ダイエーの食品スーパー7店舗を承継。
　また同年10月より（株）いちまるのスーパーストア14店舗を承継
■ 2020年3月1日付でイオン北海道（株）はマックスバリュ北海道（株）を吸収合併

●（生協）コープさっぽろ及び業務提携先売上高　（単位：百万円）

企業名	店舗数	2022年度	2023年度	伸び率(%)
（生協）コープさっぽろ	109	307,280	317,495	3.3
㈲魚長	16	9,346	8,971	▲ 4.0
㈱中央スーパー※1　※2	4	787	1,500	90.6
合　計	129	317,413	327,966	3.3

※1：（株）中央スーパーは2019年9月に（生協）コープさっぽろと業務提携契約書を締結
※2：（株）中央スーパーの2022年度は決算期を2月期→9月期へ変更したことに伴う7カ月間の変則決算

●アークスグループ売上高　（単位：百万円）

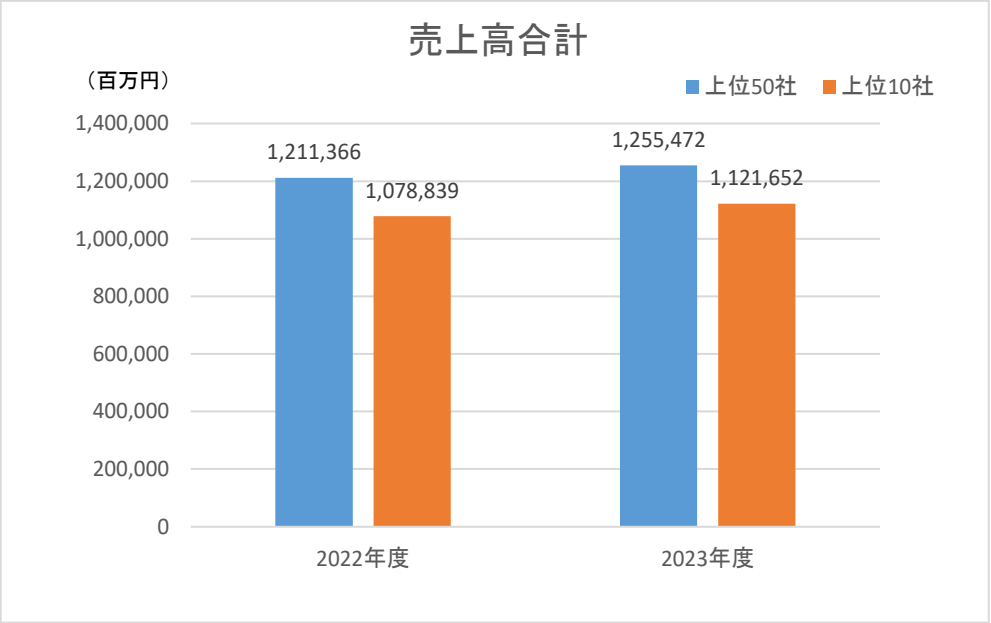
企業名	店舗数	2022年度	2023年度	伸び率(%)
㈱ラルズ	74	140,820	148,282	5.3
㈱東光ストア	26	39,380	40,540	2.9
㈱道北アークス	43	43,568	44,453	2.0
㈱福原	41	42,088	43,277	2.8
㈱道南ラルズ	18	25,939	28,544	10.0
㈱道東アークス※1	14	19,885	20,273	2.0
合計	216	311,680	325,369	4.4

※1：（株）道東ラルズは2016年3月に（株）篠原商店を合併、（株）道東ラルズは（株）道東アークスに商号を変更

©TEIKOKU DATABANK, LTD.2024

３．上位 50 社売上高合計　～1 兆 2554 億 7200 万円で前年度比 3.6%増

売上高ランキング上位 50 社の売上高合計は、1 兆 2554 億 7200 万円となり、前年度（1 兆 2113 億 6600 万円）から 3.6%増で推移した。上位 10 社の売上高合計は、50 社合計の 89.3%を占める 1 兆 1216 億 5200 万円で、前年度（1 兆 788 億 3900 万円）から 4.0%増で推移。



上位 50 社に占める上位 10 社の売上高合計の構成比は前期（89.1%）から 0.2 ポイント増加し、いっそうの寡占化が進んでいる。売上高が前年度比増収（横ばい含む）の企業は上位 50 社中 37 社、減収企業は 13 社となり、増収企業の数が上回った。

４．トップ 10 企業の動向

スーパーストア売上高ランキング推移（2014年度～2023年度）

順位	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
1	(生協)コープさっぽろ	(生協)コープさっぽろ	(生協)コープさっぽろ	(生協)コープさっぽろ	(生協)コープさっぽろ	(生協)コープさっぽろ	イオン北海道㈱	イオン北海道㈱	イオン北海道㈱	イオン北海道㈱
2	イオン北海道㈱	イオン北海道㈱	イオン北海道㈱	イオン北海道㈱	イオン北海道㈱	イオン北海道㈱	(生協)コープさっぽろ	(生協)コープさっぽろ	(生協)コープさっぽろ	(生協)コープさっぽろ
3	㈱ラルズ	㈱ラルズ	㈱ラルズ	㈱ラルズ	ﾏｯｸｽﾊﾞﾘｭ北海道㈱	ﾏｯｸｽﾊﾞﾘｭ北海道㈱	㈱ラルズ	㈱ラルズ	㈱ラルズ	㈱ラルズ
4	ﾏｯｸｽﾊﾞﾘｭ北海道㈱	ﾏｯｸｽﾊﾞﾘｭ北海道㈱	ﾏｯｸｽﾊﾞﾘｭ北海道㈱	ﾏｯｸｽﾊﾞﾘｭ北海道㈱	㈱ラルズ	㈱ラルズ	㈱ホクレン商事	㈱ホクレン商事	㈱ホクレン商事	㈱ホクレン商事
5	㈱ホクレン商事	㈱ホクレン商事	㈱ホクレン商事	㈱ホクレン商事	㈱ホクレン商事	㈱ホクレン商事	㈱東光ストア	㈱東光ストア	㈱ダイイチ	㈱ダイイチ
6	㈱道北アークス	㈱東光ストア	㈱東光ストア	㈱東光ストア	㈱東光ストア	㈱東光ストア	㈱道北アークス	㈱ダイイチ	㈱道北アークス	㈱道北アークス
7	㈱東光ストア	㈱道北アークス	㈱道北アークス	㈱道北アークス	㈱道北アークス	㈱道北アークス	㈱福原	㈱道北アークス	㈱福原	㈱福原
8	㈱福原	北雄ラッキー㈱	北雄ラッキー㈱	㈱福原	㈱福原	㈱福原	㈱ダイイチ	㈱福原	㈱東光ストア	㈱東光ストア
9	北雄ラッキー㈱	㈱福原	㈱福原	北雄ラッキー㈱	北雄ラッキー㈱	北雄ラッキー㈱	北雄ラッキー㈱	北雄ラッキー㈱	北雄ラッキー㈱	北雄ラッキー㈱
10	㈱ダイイチ	㈱ダイイチ	㈱ダイイチ	㈱ダイイチ	㈱ダイイチ	㈱ダイイチ	(株)道南ラルズ	(株)道南ラルズ	(株)道南ラルズ	(株)道南ラルズ

[注1]イオン北海道(株)は2015年9月より(株)ダイエーの北海道地区の総合スーパー9店舗を承継
[注2]マックスバリュ北海道(株)は2015年9月より(株)ダイエーの北海道地区の食品スーパー7店舗を承継。
　また同年10月1日付で(株)いちまるよりスーパーストア14店舗を承継
[注3](株)ダイイチは2016年10月1日付で(株)オーケー(音更町)を吸収合併
[注4]イオン北海道(株)は2020年3月1日付でマックスバリュ北海道(株)を吸収合併

©TEIKOKU DATABANK, LTD.2024

イオン北海道（株）は、「商品と店舗の付加価値向上」に向けた取り組みを行うなか、当社ならではの商品開発、販売に注力。食品では「イオン北海道　本気！のザンギ」は 2023 年６月の販売開始以来、売上高３億円を超えるヒット商品となった。期中に「マックスバリュエクスプレス新川３条店」「マックスバリュ山鼻店」「イオン南平岸店」を新規出店し、重点エリアのシェア拡大を図った。売上高は前期比 4.8%増の 3560 億 800 万円を計上した。

（生協）コープさっぽろは、インストア型店舗として「新さっぽろ店」を新規出店、「きたひろしま店」をスクラップ&ビルドにより新設オープンしたほか、「藤野店」「パセオすみよし店」の大型改装を実施。既存店における総菜などの品揃え充実も奏功したほか、宅配事業「トドック」の加入者数が 200 万世帯を突破、１世帯当たりの購入金額が増加した。売上高は前期比 3.3%増の 3174 億 9500 万円を計上した。

（株）ラルズは、主力である生鮮３品は、コロナ禍後も在宅需要が堅調に推移。各店舗の業態変更、改装、リニューアルを計画的に実施し、集客力アップや顧客へのサービスの向上に積極的に取り組み、現場での人材確保にも注力した。売上高は前期比 5.3%増の 1482 億 8200 万円を計上した。

（株）ホクレン商事は、食品スーパー事業では、商業施設の閉鎖や不採算店の撤退もあり、総店舗数は前期よりも５店舗減少した。こうしたなか、各商品品目の値上げを実施したことなどにより既存店舗の売上高は増加した。売上高は前期比 2.3%増の 562 億 8700 万円を計上した。

（株）ダイイチは、「東旭川店」を 2023 年４月にリニューアルオープンした。セブンプレミアム商品の取り扱い強化や手作り総菜の充実に努めて、各店舗ともに安定した集客を維持した。青果は、夏場の猛暑の影響により品不足、割高感などから前期を下回ったものの、畜産、総菜、水産、一般食品の実績は前期を上回った。売上高は前期比 3.2%増の 485 億 9600 万円を計上した。

©TEIKOKU DATABANK, LTD.2024

【内容に関する問い合わせ先】

株式会社帝国データバンク 札幌支店 担当:柳澤、渡辺、松田

TEL 011-272-3933 FAX 011-272-3934

当レポートの著作権は株式会社帝国データバンクに帰属します。
当レポートはプレスリリース用資料として作成しております。報道目的以外の利用につきましては、著作権法の範囲内でご利用いただき、私的利用を超えた複製および転載を固く禁じます。

©TEIKOKU DATABANK, LTD.2024